

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

発行／熊本県農業者政治連盟

JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



棚田の風景（矢部町：写真提供 熊本県）

阿蘇の南外輪山と九州山地に挟まれ、連なる丘陵と深い渓谷が織り成す山間地の急峻な地形を巧みに利用して、農業生産活動が営まれている。稲穂の天日干し風景であるが、歴史と伝統が受け継がれている農村の美しい原風景である。

主な内容

- ・ JA グループ熊本で「食料・農業に対する理解促進」の運動展開
- ・ JA 熊本うき青壮年部活動
- ・ ガンバッテいます：上原泰臣さん、古閑かおりさん
- ・ 各連合会からのお知らせ

ややから

「米国にあらゆる可能性があることを疑い、建国の父が生き続けていることを信じて、民主主義の力を疑うものがあるとするれば、今晚こそが、その答えとなった。」

十一月四日深夜（現地時間）、次期大統領に決まったバラク・オバマ上院議員は、地元シカゴの公園「グランド・パーク」を埋め尽くした二十万人の支持者を前に、高らかに勝利を宣言した。

オバマ上院議員が大統領選に立候補表明した昨年の二月、世界のほとんどがその存在を知らなかったし、一般のアメリカ国民ですら「知らない」政治家だった。しかしながら、「チェンジ」（変革）をスローガンとして掲げ、登場したオバマ上院議員は、当選に必要な二七〇人の選挙人を大きく上回る三八八人を獲得し、共和党候補のジョン・マケイン候補を破り、初の黒人大統領に選ばれた。

今回の大統領選挙の最大の敗北者はブッシュ共和党権とも言われる。この八年間の失政と混乱によって、アメリカ国民は閉塞状況にあり、大変な危機感があったからである。

こうした中庄倒的な勝利で選出されたオバマ上院議員だが、その前途には、緊急に取り組まなければならない課題が山積している。

まず世界を覆うアメリカ発の金融危機への、待ったなしの対策だ。そしてテロとの戦いで始まったイラク、アフガニスタンでの戦いが、アメリカ単独行動主義で、いまだに出口が見つかからないことである。

更に人類共通に早急な対策が求められている。地球温暖化等環境問題への取り組みなどである。

「米国の真の強さは武力や経済力ではなく、理想を実現する力―民主主義と自由、機会、決して朽ちることない希望にある。」「イエス・ウィ・キャン（できた、私たちはできる。）」

オバマ次期政権に、期待したい。

で「食料・農業に テーマに運動展開

安全・安心な県産農畜産物の消費拡大と、生産コスト上昇分の農畜産物価格転嫁について、消費者への理解と認知を図る運動を展開

中国をはじめ、輸入加工食品等への不信感、食の安全性、日本食糧自給率40%と先進国最低の状況のなかで、「食に対する意識」が非常に高くなっている。

加えて原油価格および輸入飼料の高騰により、農業生産資材価格が上昇し、農家所得は大幅に減少している。生産者は、省エネ対策はじめ、「コスト削減に向けて懸命に取り組んでいるが、すでに努力の限界を超えており、きわめて厳しい経営が強いられつつある。

このようなかた、JAグループ熊本は、「食の安全への取組み」、「食糧自給率向上の大切さ」、そして、今なぜ「県産農畜産物」「地産地消」が大事なのか、そして、また生産資材コスト上昇分の価格転嫁への理解を訴えるために運動を展開している。

9月20日、JA中央会・連合会、専門連の職員が熊本市内の繁華街で、県産農畜産物のチラシや、「みんなのよい食プロジェクト」のリーフレット、新米などを配布した。活動は、12月まで6回を予定、熊本市内の繁華街でチラシ配付、「熊日びぶれす広場」で即売会やゲーム大会などを予定している。

また、10月からJA中央会・連合会職員による街頭での辻立ち演説を実施し、「農業のよき理解者・応援者になってほしい」と消費者に訴えた。12月まで実施することになっている。



▲下通り、新市街で食料・農業への理解促進のため新米・チラシ配布

JAグループ熊本 対する理解促進」を

「みんなの良い食」のために
JAグループが、今取り組ん
でいること。

●その食品がどこで生まれ、どう流通し
てきたかが追跡できる「トレーサビ
リティ」や、農薬などを抑えたエコ
ロジー重視の「環境保全型農業」な
ど安全・安心な県産農畜産物をお届
けするための、新しい試みを進めて
いる。

●飼料や原油の値上げが農家を直撃し、
それらを野菜や肉などの価格に反映
せざるをえない大変な状況が続いて
いる。これからも安全・安心な県産
農畜産物を、より多くの人にお届け
したい。そして、可能なかぎりの生
産コスト削減や、農業経営のさらな
る合理化など、JAグループは、「県
農畜産物による食を守る運動」を続
けていく。

●地産地消の普及、食農教育の推進、
加工品向け農畜産物供給の強化、適
切なWTOルールの構築、農業の多
面的機能の維持など、将来にわたっ
ての継続的な、県産農畜産物の提供
に取り組んでいる。



▲熊日びふれす広場で即売会やゲーム大会



▲オープニングであいさつする JA 中央会園田会長



▲連合会職員による街頭宣伝隊



辻立ち口上抜粋

- ご通行中の皆さん、私たちはJAグループ熊本の街頭宣伝隊です。
- 安心な食生活のために大切なのは、まず産地を確認することではないでしょうか。安いかどうかよりも、安全かどうかで選ぶことではないでしょうか。自分にとって家族にとって「よい食」とは何なのか、本気で考えてみてください。私たち日本人にとって一番安全な食は、やっぱり「国産農畜産物」ではないでしょうか。

JA熊本うき 青壮年部活動

JA熊本うき青壮年部は、松橋、下北、小川、下東、宇土、三角、不知火の7地区より構成され、盟友数468名で活動しています。

青壮年部の主な活動として、リーダー研修会、JA役職員との対話集会や、地域の小学校の子ども達と一緒に田植えや稲刈り、芋掘りなど農業体験を通じた食育活動等を開催、多くの盟友が参加しています。

今後の目標としては、若い盟友を増やし、明日の地域農業を担う人材を育成したいと考えています。

JA熊本うき青壮年部 リーダー研修会

毎年9月に青壮年部リーダー研修会を開催。本年も9月26日に部員ら約100名が参加し、農業や青壮年部活動等への将来の希望や提言などを発表しました。

看板コンクールでは、豊野支部と三角地区の2看板が優秀賞に輝き、11月15～16日、合志市の県農業公園で開催される「2008くまもと農業フェア」会場に展示されます。

また、JA県中央会より講師を招いて、WTO農業交渉や農業情勢などの、農政学習会も開催しました。

管内6地区の青壮年部代表が出席した「盟友の主張大会」では、最優秀賞に「夢の途中」と題して発表した松橋地区の緒方壮洋さんが選ばれました。組織活動実績発表では下北地区の宮本亨さんが「JAと共に取り組む」を発表しました。

緒方さんと宮本さんは10月30日、八代市で開催された県大会に出場し、盟友の

主張発表大会において、緒方さんが最優秀賞に輝きました。緒方さんは熊本県の代表として、福岡県で行われる九州地区青年大会への出場が決定しました。



▲青壮年部リーダー研修会



▶盟友の主張大会で力強く発表する最優秀賞の緒方さん

組合員から「生の声」

～青壮年部との対話集会～



▲JA役職員と青壮年部との対話集会

当JAは毎年、JA役職員と青壮年部との対話集会を開催しています。

昨年度は、岩山勝也組合長が「農業を取り巻く情勢は厳しいが、組合員の満足度向上とコンプライアンスの徹底に、役職員一体となつて務めていく」と挨拶。質疑応答では、参加した部員約80名から、多くの建設的な意見や要望が出され、活発な意見交換が行われました。

「食と農の大切さを子どもたちに」



▲あぐりキッズスクール収穫祭でのもちつき・もち加工の指導

青壮年部各支部による農業体験学習の様子



▲田植え



▲芋苗植え

福岡市で初の県外街宣活動を
実施

JAグループ熊本は10月25日、「食料・農業に対する理解促進」街頭宣伝活動の第3弾として、中央会・連合会・JA職員30人の参加のもと、初めて県外の福岡市天神（大丸デパート前）で実施しました。

参加したJA熊本中央会の横田健副会長は「大消費地・福岡で熊本県産品のアピールと、農業理解を訴えることは大変重要だ。頑張つて下さい」と激励。今回は、農畜産物への価格転嫁への理解や食料自給率向上、それに安全・安心な熊本県産品のPRと、みんなのよい食プロジェクト等のチラシ2000枚ずつを配布。その間「安全・安心な熊本県産をお願いします」とマイクをもって辻立ち演説も行った。多くの通行人に訴えました。

併せて、熊本農業のイメージアンケートを実施し、回答者にはガラポンゲームを行いました。1等に熊本彩果（JAあしきた）、2等に新米（2kgを20袋）等のプレゼントや、米すくい大会等に終始長い行列ができました。



▲アンケート調査に並ぶ福岡市民

「体験・発見」米フィールド
ワーク

JA熊本中央会が主催する「第3回『体験・発見』米フィールドワーク」が10月18日、上益城郡山都町で開催されました。熊本市小学校社会科研究会や、JAかみましき・JAかみましき青壮年部が後援。児童や保護者など関係者ら40人が参加し、稲刈り体験を実施しました。

昼食は料理教室を開き、JAかみましきの枝尾征子部長の指導のもと、「巻さずし」や「だご汁」などお米を使った料理に子供たちは挑戦したほか、食料自給率などを学びました。



▲稲刈りを体験する参加者

秋冬野菜・果実出荷大会

～伝えよう生産者から消費者へ～

JA熊本経済連は10月15日、熊本市の全日空ホテルニュースカイで、平成20年産秋冬野菜・果実出荷大会を開きました。10月から来年2月までの販売目標金額を310億円（野菜類185億円、果実類125億円）とし、産地の結集と消費地との連携のもと、目標販売金額の達成を確認しました。大会には、生産者や全国の取引市場、JA関係者ら約2500名が出席。

平成20年産の生産計画は、野菜の作付面積は199.9ha増え2026ha、出荷量は7709.4t増え6万3033t。いちごの作付面積は44ha減り269ha、出荷量は1095.2t減り9829t。瓜類は作付面積が79.5ha減り320ha、出荷量は329t減り7674tを見込んでいます。

経済連によると、「作付については、キャベツ等の増加が見られるが、トマト・ナス・キュウリなどの施設野菜の主力品目では、やや減少となっている。生育については、台風接近に伴う断続的な雨で、一部定植の遅れが見られたが、前年並みの出荷数量を見込んでいく」とのこと。

大会では「品質を重視した省エネ対策への取り組み」「安全と信頼に

る「安心なJAブランド」の確立」多様化する実需者ニーズに沿った安定供給「高精度な産地情報の提供による価格確保」「統一ブランド『よかくまさん』による販促支援の強化」の5つの基本方針が報告されました。決意表明として（社）熊本県野菜振興協会園芸部長会長の松下隆裕さんが「厳しい生産現場の中で、『安全・安心』で高品質な青果物を安定的に供給することで、消費者・市場関係者の理解を得ることに全力を尽くす」と力を込めました。



▲ガンバロウ三唱をする野菜振興協会園芸部長会副会長と女性部会長

JA貯金

「プレミアムちよきんぎょキャンペーン2008」

平成20年11月4日（火）～平成21年1月30日（金）

JAバンク熊本では、平成20年11月4日（火）から平成21年1月30日（金）までの3ヶ月間、JA貯金「プレミアムちよきんぎょキャンペーン2008」を実施しています。

キャンペーン期間中、①スーパー定期貯金（10万円以上、預入期間1年以上）、②スーパーJA（据置定期貯金）（10万円以上、預入期間1年以上）③スーパー貯蓄貯金（30万円以上）のいずれかを新規でご契約いただいたお

その1 電池不要のエコロジ-時計
ちよきんぎょエコクロック

裏面の筒部分にスボイドで食塩水を注ぐと電気が発生します。



その2 いろいろ使える便利サイズ
ちよきんぎょ保温・保冷バッグ

レジャーに買い物に納める大容量！色はエンジ、ネイビー、グリーンの3色からお選びください。



お客様のうち、先着20,000名様に「ちよきんぎょエコクロック」（時計）もしくは「ちよきんぎょ保温・保冷バッグ」をプレゼントします。

今年の冬も話題を呼びそうなちよきんぎょグッズ、是非お早めにご獲得下さい。詳しくは、お近くのJA窓口へお尋ねください。

平成20年度 JA共済全国小・中学生

書道・交通安全ポスターコンクール熊本県大会 表彰式開催

10月25日（土）熊本市内において、

平成20年度 JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール熊本県大会の表彰式を開催しました。

表彰式には、県内小・中学生の児童・生徒の作品23、504点の中から、各部門各学年の最優秀賞にあたる金賞・特別賞を受賞した25名（2名は2部門受賞）の小・中学生が招待され、その栄誉が称えられました。

表彰式では、主催者挨拶に続き、来賓を代表して熊本県より祝辞が述べら

れました。

また、大会の審査を務められた審査員を代表して、森山先生（書道）、宮崎先生（ポスター）から各部門の講評がなされ、表彰では、受賞者一人ひとりに表彰状・楯・記念品が各後援団体の来賓各位から手渡され、受賞者は緊張の面持ちで受け取っていました。

金賞を受賞した27点の作品は、11月下旬にJA共済連全国本部で開催される、全国コンクールに出展されます。



▲各後援団体からの特別賞の表彰



▲特別賞・金賞を受賞した小・中学生

あじがわ

●「大菊」、「中菊」、「小菊」のさし芽を、一年かけて摘心、いろいろな形に育てる根気と技術に感服します。



十一月に咲く花【菊】
「菊」の名は漢名で、「キク」はその音読みです。

日本を代表する花（菊）は、奈良時代に中国から渡来したものであり、鉢植え草花として日本で独特の発達を遂げた。秋には菊人形の創作、愛好会主催の品評会などが各地で催されます。

また、天皇家の家紋をはじめ、菊をかたどった勳章や褒章などに使われ、なじみの深いものとなっています。

さらに、菊は西洋では墓参の時に用いられ、その影響を受けて、日本でも葬儀の際の献花として使われています。

（花ことば）高貴
キク科／多年草／中国

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-328-11284
FAX 096-328-5807

来年の夢は、何ですか？
先ずはJAバンクで、ベストプラン。

JA冬のキャンペーン

実施中！

JAバンク

しよく

みんなのよい食プロジェクト

JAグループ

「よい食プロジェクト」を展開します。

JAグループでは、生活者の食料についての不安や不信の高まりによる、安全・安心な国産農畜産物や日本農業への関心が従来にもまして高まってきている状況をふまえ、「みんなのよい食プロジェクト」を始動させました。

このプロジェクトは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、そして消費者のみなさんが一緒になって考え、行動していく運動です。

JA 熊本中央会

JA共済

自動車保障の新スタンダード

安心がそろってる。ムダなくそろってる。

新登場

ご加入にあたりましては、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

みんなにサンキューキャンペーン実施中！
<http://www.3qja.jp>

自動車共済のお見積りサービス実施中！
<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>

08481050411

水まわりが劇的に変わる!

水まわりリフォームキャンペーン 10月1日～12月31日

お風呂

キッチン

壁面はすべて高品質ホーローで、お手入れ簡単、ずっとキレイ。

キッチンの隅々まで高品質ホーローで、キズに強く、火まわりにも安心です。

キャンペーン特典

Nツアー旅行券 または **(株)エコーブ熊本商品券**

100万円以上工事契約(消費税等含む)の方に **30,000円相当分プレゼント!**

200万円以上工事契約(消費税等含む)の方に **50,000円相当分プレゼント!**

最寄りのJA または JA HOUSE

(株)エコーブ熊本 住宅事業部
〒960-0655 熊本県熊本市中央区東下町2丁目25番地7号
TEL 096-344-6534 FAX 096-344-6337